

令和元年度長野県農業大学校特別公開講座開催要領

1 趣 旨

長野県農業大学校客員教授を講師として、本学学生に加え農業関係者、食品産業関係者や広く県民を対象に、農業を中心とした幅広いテーマに関する講演会を開催し、農業に関する最新の知識の普及を図る。

2 主 催

長野県農業大学校

3 日時及び場所

- (1) 日時 令和元年7月29日(月)午後1時30分から午後4時30分
(2) 場所 メルパルク長野3F「白鳳」 長野市鶴賀高畑752-8
(代表 TEL : 026-225-7800)

4 内 容

- (1) 講師：せのおけんいちろう妹尾堅一郎氏

特定非営利活動法人産学連携推進機構 理事長
長野県農業大学校 客員教授

- (2) 演題：「農林水産業・食品産業、令和時代に昭和発想が通じるか」
～ 産業パラダイム転換に気づき、オランダの先端に学ぶ ～

<講演概要>

農林水産業・食品産業を巡るグローバルな環境は大変動期に入った。ICT やバイオの先端技術のみならず、SDGs やサーキュラーエコノミーをはじめとする政策は、例えばエネルギーやプラスチック使用に大変化をもたらしつつある。日本は完全に周回遅れである。安全で美味しい食材・食品をつくるという「昭和の発想」だけでは、「令和時代」は立ちゆかなくなるであろう。

そこで本講演では、グローバルな産業動向を俯瞰すると共に、世界の農林水産業・食品産業を先導するオランダの最新トピック等を交え、今後の日本のとる道、イノベーションへの道を探る。

5 聴講対象者：約250人

長野県農業大学校の学生・研修生、農業経営者、青年農業者、農業法人、農業団体関係者、食品産業関係者、行政関係者、経済団体関係者、一般県民等